



Diplomatic Interpreting
and U.S.-Japan Relations
外交通訳と日米関係

レフテリ・カファト

本講演では、個人で行う語学習得とプロの通訳トレーニングとの主な違いについて説明します。また、外交通訳の基本的なプロトコルを紹介し、日米間の会議で起こる具体的な課題について解説します。そのほか、日米同盟におけるコミュニケーションのあり方をいかに改善すべきか、さらにデジタル技術が通訳業界全般に与える影響などについても触れていきます。



レフテリ・カファト (Lefteris Kafatos)

2002年IUCを卒業。ミドルベリー国際大学院にて日英会議通訳の修士号、カリフォルニア大学サンディエゴ校にて国際情勢の修士号を取得。フリーランス通訳として経験を積んだ後、米国国務省で、約6年間、オバマ元大統領、トランプ前大統領、バイデン大統領の外交通訳を務める。現在は、外交通訳に関する講演を行う傍ら、日米同盟、日本の政治・外交政策、東アジアの安全保障に関する研究を続けている。

日時: 2022年11月12日(土)午前10:00 ~ 11:30 / 日本時間(質疑応答含む)

媒体: Web会議システム“Zoom”

使用言語: 日本語(通訳なし)

参加費: 無料

申込み: 11月2日(水)までに、次のリンクにあるフォームにて、お申込みください。

<https://www.iucjapan.org/html/events.html> (定員200名先着順)

お申込みを受付けた方には、Zoom IDを後日ご案内します。

お問合せ: アメリカ・カナダ大学連合日本研究センター 講演会係 events@iucjapan.org